

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95100	スポーツライフ推進事業費	担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる	
	目	1 体育総務費		施策	1 スポーツ活動の充実	
実施計画事業	スポーツライフ推進事業					
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ教室やスポーツ大会等の開催によりスポーツ活動を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ教室・スポーツ大会等の開催		
前回の評価からの改善・改革のポイント	・FC岐阜連携事業(サッカー教室)の実施			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 開催回数		回	目標値	90	90	90
実績値				72	108	90	-
算出根拠等			達成率(%)	80	120	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 参加者数(延べ人数)	人	目標値	11,200	11,200	11,200	11,200
実績値			10,578	12,563	11,200	-	
算出根拠等			達成率(%)	94	112	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	127	120	277	179
実績値			10,577	12,563	11,200	11,200	
算出根拠等			達成率(%)				-
事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
歳出(千円)(A)			1,343	1,511	3,100	2,000	
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源			1,343	1,511	3,100	2,000	
コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	127	120	277	179	
② 受益者 参加者数	(B)	10,577	12,563	11,200	11,200		
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	総合計画及び第三次スポーツ振興計画に位置づけられている
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	生活様式の多様化や健康志向の高まりなど、スポーツに対する市民ニーズは年々高まっている
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	全市民を対象に事業を実施している
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	A	活動・成果指標の目標値を十分に達成している
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	・気軽に参加できるスポーツ環境を提供している ・スポーツ活動により地域の連帯感の醸成が図られている ・スポーツにふれる機会のより一層の拡大に努めている
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	・市民ニーズの把握に努め、スポーツ教室・イベントの開催方法を工夫している ・スポーツにふれる機会(一流のスポーツ選手による指導等)の拡大を図っている
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	開催方法を工夫しコスト削減に取り組んでいる
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B	事業内容により変動があるものの、受益者1件当たりのコストは概ね適正である
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B	参加者数も増加傾向にあり、成果に対する効果は概ね適正である
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	14.0 / 20.0	100点換算 → 70 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	スポーツ教室やスポーツ大会等の開催によりスポーツ活動を推進する				
総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	市民ニーズに応じたスポーツ教室を開催していく必要がある				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	3,100	3,860	760	3,000	3,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	3,100	3,860	760	3,000	3,000

予算要求の概要	スポーツ教室等の開催
要求額増減理由	FC岐阜連携普及事業の拡大に伴う増
事業実施の課題	・市民ニーズへの対応 ・スポーツにふれる機会(一流のスポーツ選手による指導等)の拡大

財務部査定の考え方	積算内容を精査
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95110	スポーツ推進委員会事業費	担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる	
	目	1 体育総務費		施策	1 スポーツ活動の充実	
実施計画事業	体育指導委員会事業					
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員の活動を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ推進委員の委嘱、研修会等への参加		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	スポーツ推進委員活動数(研修会含む)	回	目標値	61	52	60
実績値		61	52	60	-		
算出根拠等	達成率(%)			100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値						-	
算出根拠等	達成率(%)						-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500
実績値			1,174	1,216	1,500	-	
算出根拠等	達成率(%)			78	81	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	(A/B)	受益者1件当たり(円)	80	84	87	86
受益者 全市民 (B)			94,235	93,822	93,312	93,312	
算出根拠等							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円) (A)			7,553	7,874	8,152	8,000
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
財源内訳	一般財源			7,553	7,874	8,152	8,000
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画及び第三次スポーツ振興計画に位置づけられている
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	スポーツに対する市民ニーズの高まりとともに、各種スポーツに対する適正な指導等を求める市民ニーズも高まりをみせている
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	全市民を対象に指導・普及を行っている
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	活動・成果指標の目標値は概ね達成している
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	スポーツ教室やイベント等を通じて市民の参加機会の創出を図るとともに、スポーツ推進委員の資質向上に取り組んでいる
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	スポーツ推進委員の資質の向上を図るため、研修会への積極的な参加と自主的な勉強会の開催を促している
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	コストの大部分がスポーツ推進委員の報酬である
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	全市民を対象に活動を行っており、活動内容等からみて、受益者1件当たりのコストは適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	スポーツ推進委員の資質の向上とともに、活動延べ人数も増加してきており、成果に対するコストは適正である
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0	100点換算	85 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員の活動を推進する				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	8,152	8,323	171	8,172	8,172
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	8,152	8,323	171	8,172	8,172

予算要求の概要	スポーツ推進委員活動の推進
要求額増減理由	スポーツ推進委員の研修に伴う増
事業実施の課題	スポーツ推進委員の資質向上

財務部 査定 の考え方	積算内容を精査
市長 査定 の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95125	スポーツ少年団育成補助金	担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる	
	目	1 体育総務費		施策	1 スポーツ活動の充実	
実施計画事業	地域スポーツ活動推進事業					
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	スポーツ少年団員	受益者数	1,710 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ少年団活動に対する支援		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	スポーツ少年団活動回数	回	目標値	26	27	27	27
			実績値	26	27	27	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	スポーツ少年団員数	人	目標値	1,710	1,710	1,710	1,710
			実績値	1,708	1,660	1,710	-
算出根拠等			達成率(%)	100	97	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	439	452	439	439
			実績値	439	452	439	439
算出根拠等			達成率(%)	100	97	100	-

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			
	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
歳出(千円)	(A) 750	750	750	750
受益者負担(使用料・負担金等)				
その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
一般財源	750	750	750	750

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	B(1) 一部結びつく	A	総合計画及び第三次スポーツ振興計画に位置づけられている
	B(1) 一部結びつく	C(0) 結びつかない		
	C(0) 結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B(1) ある程度のニーズがある	A	スポーツ少年団活動は青少年期における重要な活動であり、市民ニーズも高まっている
	B(1) ある程度のニーズがある	C(0) 少ない、減少している		
	C(0) 少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B(1) 概ね市民全体におよぶ	B	青少年の健全育成は、健康で明るくたくましい市民の育成につながっている
	B(1) 概ね市民全体におよぶ	C(0) わずかな受益者に限定される		
	C(0) わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B(1) 概ね達成している (75%以上)	B	活動・成果指標の目標値を概ね達成している
	B(1) 概ね達成している (75%以上)	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B(1) 概ね有効である	B	少年期のスポーツ活動の継続による生涯スポーツの推進、スポーツ活動を通じた単位クラブ間及び地域間交流の促進、健全な青少年の育成を図っている
	B(1) 概ね有効である	C(0) 見直しが必要である		
	C(0) 見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	指導者の養成及び育成団体の強化・充実、スポーツ少年団への加入促進、単位クラブ間の連携等に取り組んでいる
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C(0) 対応していない		
	C(0) 対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	B	支援のあり方等について検討している
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる	C(0) 対応していない		
	C(0) 対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B(1) 概ね適正である	B	団員数、活動内容からみて、受益者1件当たりのコストは概ね適正である
	B(1) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である		
	C(0) 改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B(2) 概ね適正である	B	青少年期におけるスポーツに取り組む環境が整備されつつあり、成果に対するコストは概ね適正である
	B(2) 概ね適正である	C(0) 改善が必要である		
	C(0) 改善が必要である			
合計	12.0 / 20.0		100点換算	60 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る ・スポーツ少年団への支援のあり方等について検討する				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	平成22年度事業評価において、今後は各種団体等の自立や自主的運営を視野に入れながら取り組む必要があるとの指摘をしており、スポーツ少年団への支援のあり方等については、こうした視点からも検討する必要がある。				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	750	750	0	750	750
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	750	750	0	750	750
予算要求の概要	スポーツ少年団活動に対する支援				
要求額増減理由					
事業実施の課題	スポーツ少年団への支援のあり方等				
財務部 査定 の考え方	要求どおり				
市長 査定 の考え方	財務部査定のとおり				

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95130	各種体育大会開催補助金		担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費	分野	3 スポーツ		
	項	5	保健体育費	基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる		
	目	1	体育総務費	施策	1 スポーツ活動の充実		
実施計画事業	スポーツ大会開催事業・地域スポーツ活動推進事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国レベルの大会をはじめ各種大会の誘致により、市民がスポーツに触れ合い、取り組むきっかけをつくる ・全国から集う多くの選手に高山の魅力発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する 		
概要	事業の実施手法(手段)	飛騨高山社会人野球大会、全国高等学校選抜スキー大会の開催支援		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 大会開催数		大会	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	-
算出根拠等	達成率(%)			100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 観客数		人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,200	1,200	1,200	-
算出根拠等	達成率(%)			100	100	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 受益者1件当たり(円)	(A/B)		目標値	5,375	5,375	5,375	5,375
			実績値	5,375	5,375	5,375	-
算出根拠等	達成率(%)						

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算額	予算額	実施計画額
	歳出(千円)(A)	6,450	6,450	6,450	6,450
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	5,000	5,000	5,000	
	一般財源	450	450	1,450	6,450

コスト面	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画
② 受益者	観客者数	(B)	1,200	1,200	1,200	1,200
算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画及び第三次スポーツ振興計画に位置づけられている
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・一流の競技スポーツに触れ合う機会を求める市民ニーズは大きい ・大会誘致がもたらす経済効果に期待する声も大きい
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	全国レベルの大会の誘致・開催は、多くの市民のスポーツに対する関心の高まりにつながっている
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	活動・成果指標の目標値を十分に達成している
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	スポーツに対する意識の高揚を図るため、質の高い大会を誘致している
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	より多くの市民に親戦してもらうため、効果的なPR等に取り組んでいる
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	全国高等学校選抜スキー大会においては、会場設営費等の削減に取り組んでいる
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	大会の開催はスポーツ意識の高揚のほか、経済効果も見込まれ、受益者1件当たりのコストは概ね適正である
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	大会規模等を踏まえると、現状の経費負担は概ね適正である
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計	13.0 / 20.0		100点換算 → 65 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国レベルの大会をはじめ各種大会の誘致により、市民がスポーツに触れ合い、取り組むきっかけをつくる ・全国から集う多くの選手に高山の魅力発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する ・全国高等学校選抜スキー大会のあり方等について検討する 				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	6,450	7,950	1,500	6,450	6,450
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	5,000	4,000	△1,000	4,000	4,000
一般財源	1,450	3,950	2,500	2,450	2,450

予算要求の概要	各種体育大会開催に対する支援
要求額増減理由	岐阜県民スポーツ大会(冬季大会)開催に伴う増
事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・選手との交流機会の拡充等 ・全国高等学校選抜スキー大会のあり方等

財務部査定の考え方	岐阜県民スポーツ大会(冬季大会)は主催者が開催中止を決定 その他は要求どおり
市長査定の考え方	財務部査定のとおりに

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95133	ジュニアスポーツ 競技力向上対策事業		担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費		分野	3	スポーツ
	項	5	保健体育費		基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる
	目	1	体育総務費		施策	1	スポーツ活動の充実
実施計画事業	スポーツ大会開催事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国レベルのジュニア大会の誘致により、ジュニア競技力の向上を図る ・全国から集う多くの選手に高山の魅力を発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する 		
概要	事業の実施手法(手段)	あららぎカップ全国中学校選抜バスケットボール大会、ひだ高山全国小学生ハンドボール大会、ひだ高山・全国キャデットアーチェリー大会の開催支援		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 大会開催数		大会	目標値	3	3	3
実績値				3	3	3	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 参加者数(延べ人数)	人	目標値	4,700	4,700	4,700	4,700
実績値			4,000	4,700	4,700	-	
算出根拠等			達成率(%)	85	100	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 参加者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	313	266	266	266
実績値			4,000	4,700	4,700	4,700	
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			1,250	1,250	1,250	1,250
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源			1,250	1,250	1,250	1,250
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	313	266	266	266
			実績値	4,000	4,700	4,700	4,700
算出根拠等			達成率(%)				-

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	総合計画及び第三次スポーツ振興計画に位置づけられている
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	ジュニア期に、より高い技術を習得することは、生涯一貫してスポーツに取り組む大きな要素であり、多くの市民ニーズがある
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B	競技種目が限定されているため、市民の競技参加は限られているものの、継続して開催しているため、市民の大会に関する認識は高まっている
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	A	活動・成果指標の目標値を十分に達成している
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	レベルの高いチームを誘致しており、ジュニア競技力の向上と競技運営ノウハウの取得につながっている
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	競技力の向上に向け、全国の有力チームを誘致し事業を実施しているが、指導体制の確立など新たな方策が求められている
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	大会のあり方について、関係団体と協議を行っている
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B	大会の開催により、競技力の向上のほか、経済効果も見込まれ、受益者1件当たりのコストは概ね適正である
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B	大会規模を踏まえると、現在の経費負担は概ね適正である
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	13.0 / 20.0	100点換算	65 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・全国レベルのジュニア大会の誘致により、ジュニア競技力の向上を図る ・全国から集う多くの選手に高山の魅力を発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する ・ジュニア競技力の向上に向けた新たな方策について検討する				
総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	国体を見据えた事業であるが、国体の開催を契機に、より一層のスポーツ振興につなげられるよう、新たな取り組みを検討する必要がある。				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	1,250	1,250	0	0	0
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	1,250	1,250	0		
予算要求の概要	ジュニアスポーツ競技力の向上を図る各種大会開催に対する支援				
要求額増減理由					
事業実施の課題	ジュニア競技力の向上に向けた新たな方策				
財務部査定の考え方	岐阜国体を見据えた事業であるため廃止 コンベンション開催支援補助金の対象にスポーツ大会を加えたことにより対応可				
市長査定の考え方	財務部査定のとおり				

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95135	体育総務事務費		担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費	分野	3 スポーツ		
	項	5	保健体育費	基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる		
	目	1	体育総務費	施策	1 スポーツ活動の充実		
実施計画事業	青少年海洋研修事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	高山市第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ推進審議会の開催、全国大会等出場者への激励、海洋体験学習への参加助成		
	前回の評価からの改善・改革のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 海洋体験学習参加者枠の拡大 スポーツイベント来高者に対するおもてなし対応 		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 激励金交付大会数	大会	算出根拠等	目標値	56	61	60	60
			実績値	56	61	60	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
② 海洋体験学習開催件数	件	算出根拠等	目標値	1	1	2	2
			実績値	1	1	2	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 激励金交付者数	人	算出根拠等	目標値	262	245	300	300
			実績値	262	245	300	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
② 海洋体験学習参加者数	人	算出根拠等	目標値	3	3	8	8
			実績値	3	3	8	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)		1,438	1,514	2,285	2,285	
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		108	171	268	268	
	一般財源		1,330	1,343	2,017	2,017	
コスト指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	受益者1件当たり(円)(A/B)	算出根拠等	目標値	5,426	6,105	7,419	7,419
			実績値	265	248	308	308
②	受益者人数(激励・海洋体験)(B)						
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

必要性	評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
		A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか		A(2)	結びつく	A	第三次スポーツ振興計画に位置づけられている
		B(1)	一部結びつく		
		C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか		A(2)	非常に多い、急増している	A	全国大会出場者も増加傾向にあり、海洋体験の参加申込者も増加してきている
		B(1)	ある程度のニーズがある		
		C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか		A(2)	市民全体におよぶ	B	子供から高齢者まで幅広い年齢層の市民が激励金の交付を受けている
		B(1)	概ね市民全体におよぶ		
		C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか		A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	活動・成果指標の目標値を十分に達成している
		B(1)	概ね達成している (75%以上)		
		C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性		A(2)	有効である	B	<ul style="list-style-type: none"> 激励金の交付は、選手のスポーツ意欲の向上に有効である 海洋体験は自然環境への意識高揚、団体生活による規律の習得に有効である
		B(1)	概ね有効である		
		C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応		A(2)	課題はない・解消されている	B	全国大会出場者激励金のあり方、海洋体験学習参加希望者増への対応、スポーツイベント来高者への対応等の改善に取り組んでいる
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
		C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫		A(2)	課題はない・解消されている	A	スポーツ活動の充実のために必要な経費である
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
		C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト		A(2)	適正である	B	スポーツイベント来高者へのおもてなし対応のため、コスト増となっている面があるが、経済効果等を踏まえると、受益者1件当たりのコストは概ね適正である
		B(1)	概ね適正である		
		C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か		A(4)	適正である	B	激励金交付者も増えており、成果に対するコストは概ね適正である
		B(2)	概ね適正である		
		C(0)	改善が必要である		
合計		14.0 / 20.0		100点換算 → 70 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	高山市第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る				
総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	(担当課評価に同じ)				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	2,285	7,066	4,781	2,685	2,685
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	268	235	△ 33	234	234
一般財源	2,017	6,831	4,814	2,451	2,451

予算要求の概要	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進審議会の開催 高山市第三次スポーツ振興基本計画の推進 スポーツイベント来高者に対する助成
要求額増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 高地トレーニングエリアでの合宿に対する助成制度創設に伴う増 スポーツ指導者養成事業の実施に伴う増 全国大会出場者応援事業の実施に伴う増
事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> スポーツイベント来高者への対応(おもてなし) スポーツ指導者の養成 全国大会出場者激励金のあり方

財務部査定の考え方	<p>積算内容を精査 高地トレーニングエリアでの合宿に対する助成制度及びスポーツ指導者養成事業は、効果が期待できないことから見送り</p>
市長査定の考え方	財務部査定のとおりに

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95230	体育施設維持管理費		担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費	分野	3 スポーツ		
	項	5	保健体育費	基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる		
	目	2	体育施設費	施策	2 スポーツ施設の整備		
実施計画事業	スポーツ施設管理事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	体育施設の適正な維持管理により、市民の利用を促進する		
概要	事業の実施手法(手段)	指定管理者による施設の維持管理		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 施設数	施設	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	目標値		66	65	64	64	
	実績値		66	65	64	-	
算出根拠等	達成率(%)		100	100	100	-	
成果指標	②		目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	目標値						
	実績値					-	
算出根拠等	達成率(%)					-	
成果指標	① 利用者数	人	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	目標値		580,000	580,000	580,000	580,000	
	実績値		576,322	588,673	580,000	-	
算出根拠等	達成率(%)		99	101	100	-	
コスト面	①	受益者1件当たり(円)	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
	目標値		322	298	303	302	
	実績値		576,322	588,673	580,000	580,000	
算出根拠等	達成率(%)					-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)		(A)	185,743	175,175	175,486	175,000
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		1,177	1,047	920		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源		184,566	174,128	174,566	175,000	
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
コスト指標	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	322	298	303	302
		受益者 利用者数	(B)	576,322	588,673	580,000	580,000
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画及び第三次スポーツ振興計画に位置づけられている
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	利用促進を図り、市民の健康増進を図るためには、施設の適正な維持管理が必要である
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	健康志向の高まりから、スポーツに取り組む市民が増加している
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	活動・成果指標の目標値を十分に達成している
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	・指定管理者制度の導入により利用者サービスの向上を図っている
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・利用状況が低い施設については、統廃合を検討している ・指定管理者と連携し利用者目線に立った施設運営に努めている
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	指定管理者制度を導入し、コスト削減に取り組んでいる
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	施設の維持管理事業であり、受益者1件当たりのコストは適正である
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	多くの市民に利用されており、成果に対するコストは適正である
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		17.0 / 20.0	100点換算 → 85 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・体育施設の適正な維持管理により、市民の利用を促進する ・類似施設や利用状況の低い施設の統廃合等について検討する				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	平成22年度事業評価において、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を検討する必要があるとの指摘をしており、こうした検討を引き続き行う必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	175,486	173,955	△ 1,531	172,233	172,233
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	920	863	△ 57	920	920
一般財源	174,566	173,092	△ 1,474	171,313	171,313

予算要求の概要	体育施設の維持管理
要求額増減理由	土地借上料の減
事業実施の課題	施設の統廃合等

財務部査定の考え方	積算内容を精査
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95235	夜間照明体育施設維持管理費	担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる	
	目	2 体育施設費		施策	2 スポーツ施設の整備	
実施計画事業	スポーツ施設管理事業					
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地域の社会体育事業を促進するため、夜間におけるスポーツ活動環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校グラウンドの夜間照明の維持管理 高等学校夜間照明施設の利用 		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 施設数	施設	目標値		27	27	27
実績値				27	27	27	-
算出根拠等	達成率(%)			100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②	人	目標値				
実績値							-
算出根拠等	達成率(%)						-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 利用者数	人	目標値	32,000	32,000	35,000	35,000
実績値			31,908	34,478	35,000	-	
算出根拠等	利用者数÷目標人数		達成率(%)	100	108	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	円	目標値				
実績値							
算出根拠等	達成率(%)						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			1,966	2,738	2,710	2,700
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			1,134	1,106	1,200	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源			832	1,632	1,510	2,700
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
①	受益者1件当たり(円)(A/B)			62	79	77	77
	受益者 利用者数 (B)			31,908	34,478	35,000	35,000
②							
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画及び第三次スポーツ振興計画に位置づけられている
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	夜間にスポーツに取り組みたいという市民ニーズは高い
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	成人を中心に多くの市民が夜間においてスポーツに取り組んでいる
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	活動・成果指標の目標値を十分に達成している
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	夜間照明の適正な維持管理により、利用者も増加している
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	高等学校夜間照明施設の利用等により、夜間におけるスポーツ活動環境を確保している
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	利用期間(5月から10月)以外は通電停止を行う等節電に取り組んでいる
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	コストのほとんどが電気料であり、増減はあるものの受益者1件当たりのコストは適正である
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	利用者も増加しており、成果に対するコストは適正である
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		15.0 / 20.0	100点換算 → 75 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	地域の社会体育事業を促進するため、夜間におけるスポーツ活動環境を整備する				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	2,710	2,721	11	2,710	2,710
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	1,200	1,105	△ 95	1,200	1,200
一般財源	1,510	1,616	106	1,510	1,510

予算要求の概要	夜間におけるスポーツ活動環境の整備
要求額増減理由	
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	積算内容を精査
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95238	高地トレーニング強化拠点施設 高機能化事業	担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ	
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる	
	目	2 体育施設費		施策	2 スポーツ施設の整備	
実施計画事業	飛騨御嶽高原ナショナル高地トレーニングエリア推進事業					
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民・国内外競技者	受益者数	93,312人超
	どういう状態にしたいのか(意図)	ナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点施設の指定を踏まえ、医科学サポート機能をはじめとするトレーニング環境を整備し、スポーツ振興と地域の活性化を促進する		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 高地トレーニング高機能化事業の実施(国の委託事業) 飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理及び施設改修 飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進 		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	施設数	施設	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
	算出根拠等			1	1	1	1
				1	1	1	1
				達成率(%)	100	100	100
成果指標	②			目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
	算出根拠等						-
				達成率(%)			-
成果指標	①	利用者数	人	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
	算出根拠等			600	1,000	1,200	1,200
				599	941	1,200	-
				達成率(%)	100	94	100
成果指標	②			目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
	算出根拠等						-
				達成率(%)			-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21	H22	H23	H24
	歳出(千円)(A)			決算額	決算額	予算額	実施計画額
				35,553	19,535	26,996	25,900
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)			855	1,506	1,500	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			29,019	10,777	15,000	
コスト面	一般財源			5,679	7,252	10,496	25,900
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
①	受益者1件当たり(円)(A/B)			59,354	20,760	22,497	21,583
	受益者 利用者数 (B)			599	941	1,200	1,200
②							
	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画及び第三次スポーツ振興計画に位置づけられている	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	高地トレーニングに対する認識の高まりとともに、市民ニーズは高まってきている	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	利用者は市外の陸上競技者が主であるが、合宿利用等による地域への経済効果が見込まれる	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	B	活動・成果指標の目標値を概ね達成している	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	地域の特性を生かしたスポーツ拠点の整備により、多くの競技者に医科学トレーニング環境を提供するとともに、地域の活性化に寄与している	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	施設を含むエリアの利便性について、利用者より意見を聴取しながら、改善に取り組んでいる	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	施設運営経費を検証し、指定管理制度導入を検討している	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	スポーツの振興による地域の活性化という観点も踏まえると、受益者1件当たりのコストは概ね適正である	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	利用者数も年々増加しており、成果に対するコストは概ね適正である	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		12.0 / 20.0	100点換算		60 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	ナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点施設の指定を踏まえ、医科学サポート機能をはじめとするトレーニング環境を整備し、スポーツ振興と地域の活性化を促進する				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	今後は、施設整備を重視した施策から利活用を重視した施策に転換していく必要がある				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	26,996	31,539	4,543	28,396	28,396
国庫支出金	15,000	10,000	△ 5,000	10,000	10,000
県支出金					
起債					
その他	1,500	1,800	300	1,800	1,800
一般財源	10,496	19,739	9,243	16,596	16,596

予算要求の概要	飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進
要求額増減理由	クロスカントリーコース整備に伴う増
事業実施の課題	飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進と地域の活性化

財務部査定の考え方	高機能化事業及び施設整備事業については計画に基づき実施施設維持管理費は積算内容を精査
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95240	体育施設改修整備事業費		担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費	分野	3 スポーツ		
	項	5	保健体育費	基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる		
	目	2	体育施設費	施策	2 スポーツ施設の整備		
実施計画事業	スポーツ施設整備事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	誰もが安全で快適に利用できるスポーツ環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	施設の改修整備		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等			目標値 実績値			
		算出根拠等		達成率(%)				-
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値 実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値 実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				-
コスト面	①	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
		歳出(千円)	(A)	60,226	49,295	30,000	36,000	
財源内訳		受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)		14,459	10,690	10,000		
コスト指標	①	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	105	84	52	62	
		受益者	利用者数	(B)	576,322	588,673	580,000	580,000
		算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画及び第三次スポーツ振興計画に位置づけられている
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	施設の利便性の向上や安全性の確保に対する市民ニーズは高まっている
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	多くの市民が利用する施設であり、事業効果は市民全体に及んでいる
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	施設の改修整備事業であり、事業内容が多岐にわたるため、活動・成果指標の設定が困難である。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	同上
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	同上
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	類似した施設や利用状況の低い施設については、統廃合を検討している
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	受益者1件当たりのコストは適正である
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	市民ニーズを踏まえ、計画的かつきめ細やかに改修整備を行っており、成果に対するコストは適正である
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		13.0 / 14.0	100点換算	93 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・誰もが安全で快適に利用できるスポーツ環境を整備する ・類似施設や利用状況の低い施設の統廃合等について検討する				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・体育施設修繕計画に基づき利用者の目線に立った計画的な施設整備を行う必要がある。また、平成22年度事業評価において、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を検討する必要があるとの指摘をしており、こうした検討を引き続き行う必要がある ・競技人口のバランスに配慮した施設整備を行う必要がある				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	30,000	45,840	15,840	29,000	29,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	10,000	0	△ 10,000		
一般財源	20,000	45,840	25,840	29,000	29,000

予算要求の概要	体育施設の改修整備
要求額増減理由	施設改修の増
事業実施の課題	・安全で快適に利用できるスポーツ環境の整備(老朽化への対応等) ・施設の統廃合等

財務部査定の考え方	整備計画に基づき実施
市長査定の考え方	財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95245	体育施設管理事務費		担当課	市民活動部 スポーツ振興課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費	分野	3 スポーツ		
	項	5	保健体育費	基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しみことのできる環境をつくる		
	目	2	体育施設費	施策	2 スポーツ施設の整備		
実施計画事業	スポーツ施設管理事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	体育施設を適正に管理運営する		
概要	事業の実施手法(手段)	管理事務		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績				
				H21	H22	H23見込	H24計画	
算出根拠等				目標値				
				実績値			-	
				達成率(%)			-	
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績				
				H21	H22	H23見込	H24計画	
算出根拠等				目標値				
				実績値			-	
				達成率(%)			-	
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績				
				H21	H22	H23見込	H24計画	
算出根拠等				目標値				
				実績値			-	
				達成率(%)			-	
コスト面	①	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	単位	H21	H22	H23	H24	
				決算額	決算額	予算額	実施計画額	
		歳出(千円)	(A)	3,707	3,709	4,392	3,800	
財源内訳		受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源		3,707	3,709	4,392	3,800	
コスト指標	①	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	39	40	47	41	
		受益者	人口	(B)	94,235	93,822	93,312	93,312
		算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	総合計画及び第三次スポーツ振興計画に位置づけられている
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	利用促進を図り、市民の健康増進を図るためには、施設の適正な維持管理が必要である
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	健康志向の高まりから、スポーツに取り組む市民が増加している
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	施設の管理事務であり、活動・成果指標の設定が困難である
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	同上
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	同上
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	経費の節減に努めている
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	施設の管理事業であり、受益者1件当たりのコストは適正である
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	施設の管理事務費であり、成果に対するコストは適正である
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		13.0 / 14.0	100点換算	93 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・体育施設を適正に管理運営する				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	4,392	12,628	8,236	8,992	8,992
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	4,392	12,628	8,236	8,992	8,992

予算要求の概要	管理事務
要求額増減理由	体育施設の安全点検実施に伴う増
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	積算内容を精査 大規模体育施設の安全点検を実施
市長査定の考え方	財務部査定のとおり